



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月8日

上場会社名 株式会社 翻訳センター 上場取引所 東
コード番号 2483 URL <https://www.honyakuctr.com>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 二宮 俊一郎
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括 (氏名) 魚谷 昌司 TEL 06-6282-5013
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 ー
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	2,578	3.9	167	1.0	178	5.7	117	8.5
2023年3月期第1四半期	2,480	0.6	165	△7.6	168	△2.9	108	△3.4

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 118百万円 (1.9%) 2023年3月期第1四半期 115百万円 (△2.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	35.18	—
2023年3月期第1四半期	32.45	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	7,345	5,641	76.8
2023年3月期	7,486	5,672	75.7

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 5,641百万円 2023年3月期 5,672百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	45.00	45.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	0.00	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	5,500	4.9	410	5.3	420	7.4	280	7.9	83.87
通期	11,550	5.5	1,000	7.6	1,020	6.1	700	1.9	209.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）、除外 ー社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	3,369,000株	2023年3月期	3,369,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	32,222株	2023年3月期	32,222株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	3,336,778株	2023年3月期1Q	3,331,078株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症における各種制限の緩和で景気に緩やかな持ち直しの動きが見られるものの、地政学的リスクの高まりや原材料価格の高騰、物価の上昇、世界的な金融引き締め等を背景に海外景気の下振れが懸念され、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループは2023年3月期を初年度とする3ヵ年の中期経営計画に基づき、当社グループの中核をなす翻訳事業の持続的成長を目指すとともに翻訳支援ツールや機械翻訳など最先端技術の積極的な活用を推し進め、企業のグローバル展開に伴う翻訳・通訳需要の獲得に努めてまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績につきましては、コアビジネスである翻訳事業が堅調に推移したことに加え、派遣事業の復調、通訳事業の伸長もあり、売上高は前年同期比3.9%増の2,578百万円、営業利益は前年同期比1.0%増の167百万円、経常利益は前年同期比5.7%増の178百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比8.5%増の117百万円となりました。

各セグメントの経営成績は次のとおりであります。

① 翻訳事業

特許分野では前期に引き続き主要顧客である特許事務所や企業の知的財産関連部署からの受注が好調に推移し、売上高は前年同期比13.8%増の719百万円となりました。医薬分野では外資製薬からの受注は堅調に推移したものの、内資製薬が低調に推移したことに加え、CRO（医薬品開発受託機関）からの受注減少も影響し、売上高は前年同期比5.4%減の618百万円となりました。工業・ローライゼーション分野では自動車や機械をはじめとする製造業からの受注は堅調を維持したものの、非製造業からの受注が低調に推移し、売上高は前年同期比0.0%減とほぼ横ばいの461百万円となりました。金融・法務分野では上場会社の英文開示に対する機運の高まりからIR関連文書の受注が増加したことに加え、企業の管理系部署からの受注が伸長し、売上高は前年同期比17.6%増の180百万円となりました。

これらの結果、翻訳事業の売上高は前年同期比4.1%増の1,979百万円となりました。

② 派遣事業

語学スキルの高い人材を顧客企業に派遣する派遣事業においては、新規受注の増加により常用雇用者数が前年同期を上回って推移したことから、売上高は前年同期比7.9%増の298百万円となりました。

③ 通訳事業

通訳事業においては、主要顧客である金融機関、医薬品関連会社、精密・通信機器メーカーからの旺盛な受注、外資コンサルティング会社からの受注増加に加え、精密機器メーカーからの大型スポット案件の獲得もあり、売上高は前年同期比12.6%増の207百万円となりました。

④ コンベンション事業

コンベンション事業においては、競合激化の影響により国際会議や各種展示会の受注が減少し、売上高は前年同期比50.6%減の7百万円となりました。

⑤ その他

その他のセグメントにおいては、外国への特許出願に伴う明細書の作成や出願手続きを行う株式会社FIPASが低調に推移したことに加え、語学教育事業では通訳者・翻訳者養成スクール「アイ・エス・エス・インスティテュート」の春期レギュラーコースの受講者数の伸び悩み等が影響し、売上高は前年同期比17.7%減の85百万円となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は6,470百万円となり、前連結会計年度末に比べ140百万円減少いたしました。これは主に翻訳事業の代金回収により、受取手形及び売掛金が減少しているためであります。固定資産は874百万円となりました。

この結果、総資産は7,345百万円となり、前連結会計年度末に比べ141百万円減少いたしました。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は1,502百万円となり、前連結会計年度末に比べ115百万円減少いたしました。これは主に賞与引当金が減少したことによるものであります。固定負債は201百万円となり、前連結会計年度末に比べ5百万円増加いたしました。

この結果、負債合計は1,704百万円となり、前連結会計年度末に比べ109百万円減少いたしました。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産は5,641百万円となり、前連結会計年度末に比べ31百万円減少いたしました。これは主に剰余金の配当を実施したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、2023年5月11日の「2023年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,133,859	4,287,414
受取手形及び売掛金 (純額)	2,172,330	1,740,941
仕掛品	150,234	252,004
その他	154,701	190,025
流動資産合計	6,611,126	6,470,386
固定資産		
有形固定資産	36,656	35,254
無形固定資産	46,555	43,071
投資その他の資産	792,476	796,384
固定資産合計	875,688	874,710
資産合計	7,486,815	7,345,097
負債の部		
流動負債		
買掛金	772,164	767,019
未払法人税等	113,490	77,883
返金負債	3,243	1,448
賞与引当金	292,532	139,619
その他	436,983	517,001
流動負債合計	1,618,413	1,502,972
固定負債		
役員退職慰労引当金	3,200	3,200
退職給付に係る負債	192,277	197,886
固定負債合計	195,477	201,086
負債合計	1,813,891	1,704,059
純資産の部		
株主資本		
資本金	588,443	588,443
資本剰余金	478,823	478,823
利益剰余金	4,642,907	4,610,145
自己株式	△79,267	△79,267
株主資本合計	5,630,906	5,598,144
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	44,195	44,935
退職給付に係る調整累計額	△2,178	△2,042
その他の包括利益累計額合計	42,017	42,893
純資産合計	5,672,923	5,641,037
負債純資産合計	7,486,815	7,345,097

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	2,480,715	2,578,647
売上原価	1,287,440	1,323,711
売上総利益	1,193,275	1,254,936
販売費及び一般管理費	1,028,050	1,087,919
営業利益	165,224	167,017
営業外収益		
為替差益	—	1,234
持分法による投資利益	7,118	9,335
その他	420	1,182
営業外収益合計	7,538	11,753
営業外費用		
為替差損	3,815	—
その他	0	41
営業外費用合計	3,815	41
経常利益	168,947	178,729
特別損失		
固定資産除却損	12	2,040
特別損失合計	12	2,040
税金等調整前四半期純利益	168,935	176,689
法人税等	60,837	59,296
四半期純利益	108,098	117,392
親会社株主に帰属する四半期純利益	108,098	117,392

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	108,098	117,392
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	7,526	740
退職給付に係る調整額	360	135
その他の包括利益合計	7,887	876
四半期包括利益	115,986	118,268
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	115,986	118,268
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	翻訳事業	派遣事業	通訳事業	コンベン ション事業	計		
売上高							
翻訳							
特許	631,723	—	—	—	631,723	—	631,723
医薬	654,446	—	—	—	654,446	—	654,446
工業・ローカラ イゼーション	461,559	—	—	—	461,559	—	461,559
金融・法務	153,542	—	—	—	153,542	—	153,542
人材派遣	—	276,388	—	—	276,388	—	276,388
通訳	—	—	184,214	—	184,214	—	184,214
コンベンション	—	—	—	14,621	14,621	—	14,621
その他	—	—	—	—	—	104,219	104,219
顧客との契約から 生じる収益	1,901,271	276,388	184,214	14,621	2,376,495	104,219	2,480,715
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上 高	1,901,271	276,388	184,214	14,621	2,376,495	104,219	2,480,715
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	14,127	—	10,777	—	24,905	295	25,200
計	1,915,399	276,388	194,991	14,621	2,401,401	104,514	2,505,916
セグメント利益又は 損失(△)	186,658	13,017	△3,960	△22,858	172,856	△9,159	163,697

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外国出願特許支援事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	172,856
「その他」の区分の利益	△9,159
セグメント間取引消去	1,526
四半期連結損益計算書の営業利益	165,224

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	翻訳事業	派遣事業	通訳事業	コンベン ション事業	計		
売上高							
翻訳							
特許	719,076	—	—	—	719,076	—	719,076
医薬	618,748	—	—	—	618,748	—	618,748
工業・ローカラ イゼーション	461,385	—	—	—	461,385	—	461,385
金融・法務	180,674	—	—	—	180,674	—	180,674
人材派遣	—	298,427	—	—	298,427	—	298,427
通訳	—	—	207,457	—	207,457	—	207,457
コンベンション	—	—	—	7,209	7,209	—	7,209
その他	—	—	—	—	—	85,669	85,669
顧客との契約から 生じる収益	1,979,883	298,427	207,457	7,209	2,492,978	85,669	2,578,647
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上 高	1,979,883	298,427	207,457	7,209	2,492,978	85,669	2,578,647
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	10,070	1,640	43,604	—	55,315	574	55,890
計	1,989,954	300,067	251,062	7,209	2,548,294	86,244	2,634,538
セグメント利益又は 損失(△)	184,822	18,173	17,676	△21,093	199,577	△33,477	166,100

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外国出願特許支援事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	199,577
「その他」の区分の利益	△33,477
セグメント間取引消去	916
四半期連結損益計算書の営業利益	167,017